

## 調査レポート

# アジア経済概況(2012年7・8月)

### 【目次】

#### . 中華圏・韓国

- 1. 中国経済の概況・・・7-9月期7.4%成長に減速も景気に底入れの兆し ..... p.1
- 2. 中国の主要指標解説:国際資本フローと人民元相場 ..... p.3
- 3. 台湾経済の概況・・・景気に底入れの兆し ..... p.4
- 4. 韓国経済の概況・・・内外需の不振から景気の低迷が続く ..... p.5

#### . ASEAN・インド

- 1. タイ経済の概況・・・輸出の失速が景気のブレーキに ..... p.6
- 2. インドネシア経済の概況・・・経済成長ペースは減速 ..... p.7
- 3. マレーシア・フィリピン・シンガポールの主要経済指標 ..... p.8
- 4. ベトナム経済の概況・・・約1年ぶりに加速に転じた消費者物価 ..... p.9
- 5. インド経済の概況・・・改革進展期待などから株価が上昇 ..... p.10

- . アジア通貨・株価動向 ..... p.11

### 三菱UFJリサーチ & コンサルティング株式会社

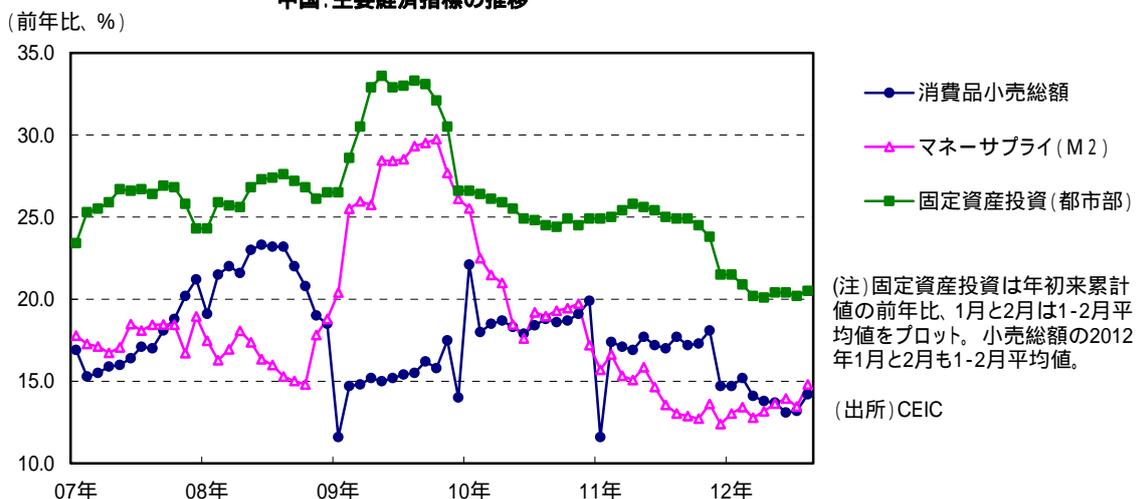
調査部 野田 麻里子( 担当)、土田 陽介( ・ 担当) ( chosa-report@murc.jp )  
〒105-8501 東京都港区虎ノ門5-11-2  
TEL: 03-6733-1070

．中華圏・韓国

1．中国経済の概況

- ・ 景気テコ入れ策の効果もあり、景気に底入れの兆しがみられる。
- ・ 2012年7-9月期の実質GDP成長率は、内外需の低迷から、前年比7.4%と7四半期連続で鈍化し、2009年1-3月期（同6.6%）以来、最も低い成長率となった。ただし、前期（同7.6%）からの鈍化幅は0.2%ポイントと縮小傾向にある。また1-9月期ベースでは同7.7%と今年の成長率目標である7.5%を依然として上回っている。なお、2010年10-12月期以降発表されるようになった前期比ベースの成長率の数値は改定幅が大きいなど指標として不安定さが残っているが、1-3月期1.5%（年率換算で6.1%）を底に4-6月期2.0%（同8.2%）、7-9月期2.2%（9.1%）と持ち直し傾向を示している。
- ・ 9月単月では、強弱両方の指標が混在している。自動車販売（前年比1.7%減）、直接投資実行額（同3.8%減）、発電量（同1.2%増）などは景気の下押し圧力が続いていることを示唆している。一方で、小売総額（同14.2%増）、固定資産投資（1-9月累計前年比20.5%増）、輸出（前年比9.9%増）などは持ち直し傾向を示しており、政府の省エネ家電普及制度による消費刺激やインフラ投資の認可加速などの政策の効果も現れているようだ。
- ・ また、9月のマネーサプライ（M2）は前年比14.8%増と年間目標（同14%増）を上回る増加となっており、金融緩和への転換がこうした持ち直し傾向を支えているとみられる。
- ・ 一方、生産者物価は9月前年比3.6%と依然として大幅なマイナスが続いているが、前月比ベースでは8月の0.5%から0.1%にマイナス幅は大きく縮小しており、在庫調整が進み、国内の需給バランスも徐々に改善してきているとみられる。

中国:主要経済指標の推移



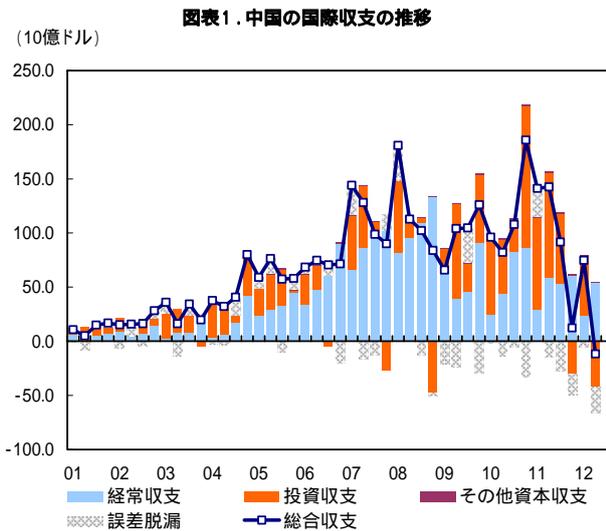
【中国・香港の主要経済指標】

			2009年	2010年	2011年	11/3Q	11/4Q	12/1Q	12/2Q	12/3Q	12/7月	12/8月	12/9月	
中国	GDP	実質GDP成長率	前期比%				2.4	1.7	1.5	2.0	2.2			
		(累計ベース)	前年比%	9.2	10.4	9.3	9.1	8.9	8.1	7.6	7.4			
		名目GDP成長率(累計ベース)	前年比%	8.6	17.8	17.8	18.2	17.8	11.3	10.4	9.7			
	消費	社会消費品小売総額	前年比%	15.5	18.4	17.1	17.3	17.5	15.2	13.9	13.5	13.1	13.2	14.2
		うち市(都市部)	前年比%	15.5	18.8	17.2	17.4	17.6	15.2	13.8	13.5	13.1	13.1	14.2
		うち県(農村部)	前年比%	16.4	16.2	16.6	16.7	17.5	14.6	14.3	14.2	13.6	14.3	14.7
		自動車販売台数	前年比%	45.4	32.4	2.5	4.4	0.7	3.9	10.0	4.4	8.2	8.3	1.7
		うち乗用車(セグ、SUV他)	前年比%	52.9	33.2	5.2	7.9	2.1	1.8	16.6	6.7	10.7	11.3	0.3
		消費者自信指数	期中平均	101.9	105.5	103.3	104.7	99.3	103.0	102.1	99.5	98.2	99.4	100.8
		消費者期待指数	期中平均	101.2	105.8	106.6	110.4	104.4	108.9	106.9	103.1	101.5	103.7	104.0
	投資	固定資産投資(都市部・500万円以上;年初来累計)	前年比%	30.5	24.5	23.8	24.9	23.8	20.9	20.4	20.5	20.4	20.2	20.5
		うち不動産・居住用建物	前年比%	19.9	33.5	29.7	32.6	29.7	27.0	22.1	21.1	20.9	20.9	21.1
		うち国内企業	前年比%	33.8	25.6	24.7	25.7	24.7	21.4	21.0	21.2	21.0	20.8	21.2
		うち製造業	前年比%	26.8	27.0	31.8	31.5	31.8	24.8	24.5	23.5	24.9	23.9	23.5
		うち鉄鋼	前年比%	1.3	6.1	14.6	20.0	14.6	8.0	9.4	3.9	6.9	7.7	3.9
		うち輸送機械(自動車)	前年比%	31.3	31.7	27.2	32.1	27.2	38.6	36.0	34.5	37.2	35.6	34.5
		うち電気機械	前年比%	51.2	40.4	44.6	50.0	44.6	11.2	8.3	7.0	8.7	8.3	7.0
		うち情報通信機器	前年比%	6.7	48.2	34.2	39.4	34.2	12.4	12.6	14.8	12.4	12.9	14.8
		直接投資契約件数(累計ベース)	前年比%	14.9	16.9	1.1	6.2	1.1	9.4	13.1	11.7	12.3	12.4	11.7
		直接投資実行額(累計ベース)	前年比%	13.2	12.4	9.7	16.6	9.7	2.8	3.0	3.8	3.6	3.4	3.8
不動産景気指数	期中平均	98.4	104.3	101.6	101.0	99.7	97.4	95.1	94.5	94.6	94.6	94.4		
貿易及び外貨準備	貿易収支	10億ドル	195.7	181.5	154.9	62.6	48.3	0.3	68.6	79.4	25.2	26.6	27.7	
	輸出(ドルベース)	前年比%	16.0	31.3	20.3	20.6	14.2	7.6	10.5	4.5	1.0	2.7	9.9	
	輸入(ドルベース)	前年比%	11.2	38.8	24.9	24.9	20.1	6.9	6.4	1.4	4.6	2.6	2.4	
	対米貿易収支	10億ドル	143.3	181.2	202.3	60.9	57.0	42.4	57.2	61.4	20.0	20.4	21.1	
	対日貿易収支	10億ドル	33.0	55.7	46.3	12.0	8.3	6.9	7.8	9.0	3.6	3.2	2.3	
	外貨準備	期末10億ドル	2399.2	2847.3	3181.1	3201.7	3181.1	3305.0	3240.0	3285.1	3240.0	3272.9	3285.1	
生産	鉱工業付加価値額(累計ベース)	前年比%	11.0	15.7	13.9	14.2	13.9	11.6	10.5	10.0	10.3	10.1	10.0	
	うち国有企業	前年比%	6.9	13.7	9.9	10.4	9.9	7.2	7.0	6.3	6.6	6.3	6.3	
	うち株式会社	前年比%	13.3	16.8	15.8	16.1	15.8	13.8	12.4	11.8	12.1	12.0	11.8	
	うち外商・港台企業	前年比%	6.2	14.5	10.4	10.9	10.4	6.4	6.3	6.0	6.1	6.0	6.0	
	発電量	前年比%	6.8	14.0	10.9	10.8	8.9	6.5	1.2	2.1	2.3	2.6	1.2	
	製造業購買担当者指数(PMI)	%	52.9	53.8	51.4	50.9	49.9	51.5	51.3	49.7	50.1	49.2	49.8	
	うち新規受注	%	55.4	55.8	51.9	51.2	49.4	52.2	51.2	49.2	49.0	48.7	49.8	
うち雇用	%	49.9	51.8	50.2	50.6	49.1	49.2	50.4	49.2	49.5	49.1	48.9		
新規輸出受注	%	49.5	52.8	50.0	49.9	47.6	50.0	50.0	47.3	46.6	46.6	48.8		
所得	都市一人当り所得(累計ベース)	前年比%	10.5	11.5	14.0	13.5	14.0	14.1	13.3					
	労働力市場求人倍率	期末	0.97	1.01	1.04	1.04	1.04	1.08	1.05	1.05				
	第二次産業/全産業求人比率	期末%	39.7	34.5	40.4	41.1	40.4	43.5	41.7	38.9				
物価	消費者物価指数	前年比%	0.7	3.3	5.4	6.3	4.6	3.8	2.9	1.9	1.8	2.0	1.9	
	うち食品	前年比%	0.8	7.2	11.8	13.9	9.9	8.1	5.7	2.8	2.4	3.4	2.5	
	うち家庭設備・家庭用品	前年比%	0.2	0.0	2.4	2.8	2.8	2.4	2.0	1.8	1.9	1.8	1.6	
	生産者物価指数	前年比%	5.4	5.5	6.1	7.1	3.1	0.1	1.4	3.3	2.9	3.5	3.6	
金融	マネーサプライ(M2)	前年比%	27.7	19.7	13.6	13.0	13.6	13.4	13.6	14.8	13.9	13.5	14.8	
	インターバンク金利(翌日物)	期中平均%	1.03	1.67	3.14	3.63	3.33	3.30	2.65	2.73	2.68	2.72	2.79	
	株価指数(上海総合)	期末	3,277	2,808	2,199	2,359	2,199	2,263	2,225	2,086	2,104	2,048	2,086	
	為替レート(元/ドル)	期中平均	6.83	6.77	6.46	6.42	6.34	6.31	6.31	6.33	6.32	6.34	6.34	
	為替レート(円/元)	期中平均	13.7	12.9	12.3	12.1	12.2	12.5	12.7	12.4	12.5	12.4	12.3	
香港	GDP	実質GDP成長率	前年比%	2.5	6.8	4.9	4.3	2.8	0.7	1.2				
		うち民間消費	前年比%	0.8	6.3	8.2	9.5	5.9	6.4	3.5				
		うち固定資本形成	前年比%	3.5	7.4	7.5	11.6	9.3	12.6	6.2				
	名目GDP成長率	前年比%	2.8	7.1	8.9	8.8	6.9	4.2	3.9					
	消費	小売販売数量指数	前年比%	0.8	15.6	18.5	19.6	16.2	11.0	7.1		0.2	3.0	
	貿易	貿易収支	10億HKドル	224	335	426	111	116	99	123		40	36	
		輸出(香港ドルベース)	前年比%	12.6	22.7	10.2	4.3	7.0	1.5	1.8		3.5	0.6	
輸入(香港ドルベース)		前年比%	11.0	25.0	11.9	8.8	9.3	0.7	2.1		1.8	0.9		
物価	消費者物価指数	前年比%	0.6	2.3	5.3	6.4	5.7	5.2	4.2	3.1	1.7	3.8	3.8	
金融	マネーサプライ(M3)	期末%	7.1	5.3	12.8	14.2	11.2	13.2	8.7		7.6	8.8		
	ハンセン指数	期末ポイント	21,873	23,035	18,434	17,592	18,434	20,556	19,441	20,840	19,797	19,483	20,840	

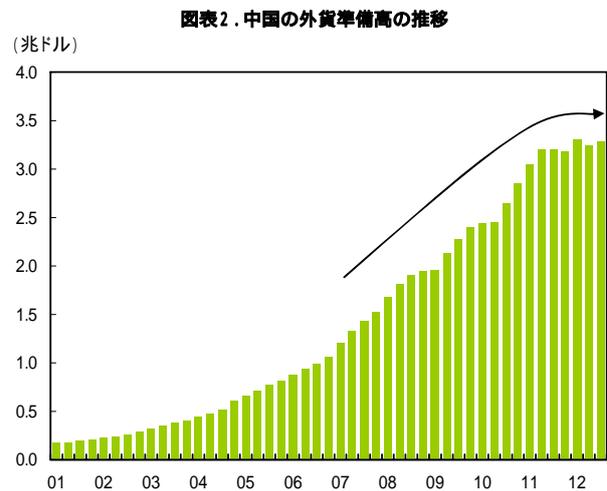
(出所)CEIC(注)小売総額の内訳は2010年以降、上段(都市部)、下段(農村部)。固定資産投資統計の基準は2011年以降500万円から500万円に変更。

2. 中国の主要指標解説：国際資本フローと人民元相場

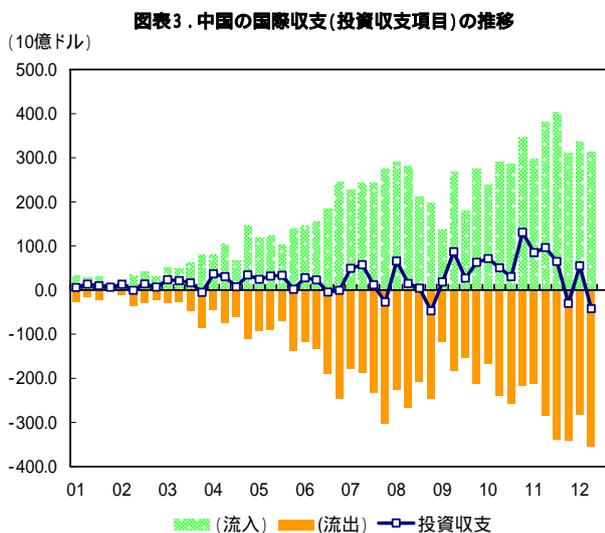
4-6月期、中国の国際収支統計の総合収支が通貨危機時の1998年4-6月期以来14年ぶりに赤字（出超）となった。これは直接投資や証券投資を含む投資収支項目と誤差脱漏項目が大幅な赤字（出超）となったためである（図表1）。この結果、外貨準備高の増加が止まり、横ばいで推移するようになってきている（図表2）。誤差脱漏項目の赤字拡大はかつて中国が資本逃避に悩まされていた時代を想起させ、これが景気テコ入れのため金融緩和策の効果を減殺している可能性があるとの指摘もある。しかし、同じく大幅な赤字を計上している投資収支項目における資本の流出入の動きをみると、双方向とも高い水準が続く中でやや流出が流入を上回った結果の赤字であり、足元の状況は資本逃避といった深刻なものではなく、資本の流出超にとどまっていることがわかる。実際、こうした資本の流出超もあり、人民元安方向に動いていた為替相場も9月中旬の米国のQE3開始前後から人民元高方向に転じており、世界的な金融緩和の進展を背景に再び資本フローも入超となっている可能性が示唆されている。



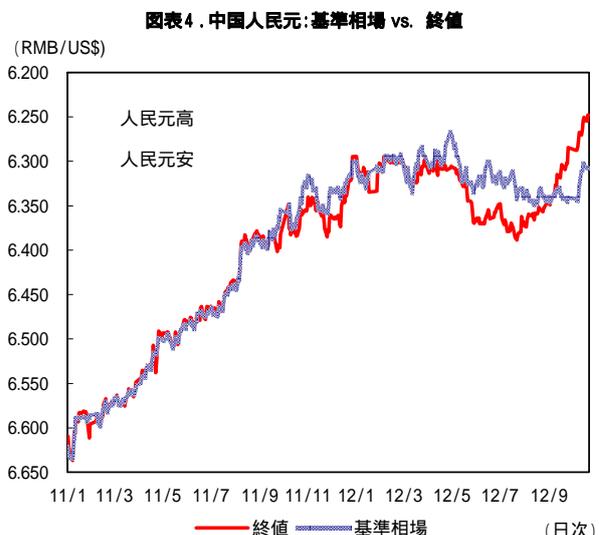
(出所)CEIC (注)直近データは2012年4-6月期。



(出所)CEIC (注)直近データは2012年9月末。



(出所)CEIC (注)直近データは2012年4-6月期。

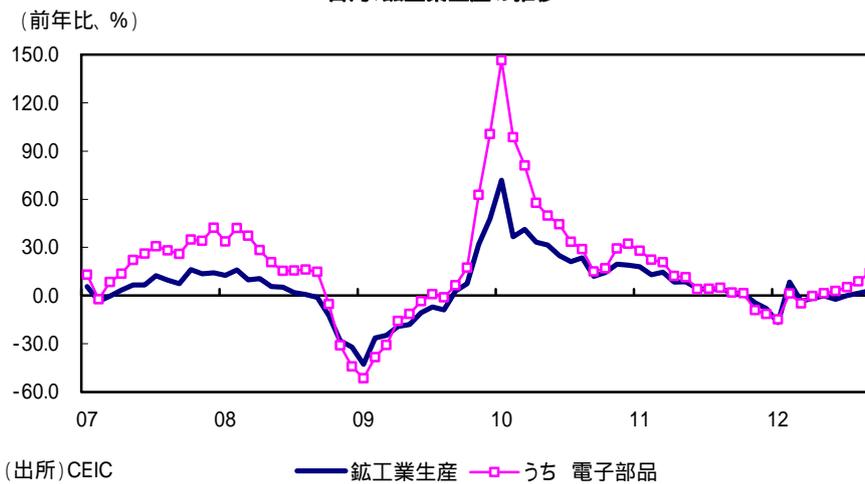


(出所)CEIC (注)直近データは2012年10月24日。

3. 台湾経済の概況

- ・ 景気に底入れの兆しがみえてきた。
- ・ 9月の鉱工業生産は iPhone や iPad などアップル社の新製品向けの電子部品生産の好調から前年比 3.0% 増と堅調な増加となった。比較対象となる前年 9 月の水準が化学工場の火災の影響などで低いことも影響しているが、今後もマイクロソフト社の Windows8 搭載の電子機器の発売などもあり、電子部品生産の好調は続くと思われる。輸出も電子部品を中心に 9 月は前年比 10.4% 増とプラスに持ち直している。輸出の先行指標である輸出受注も前年比 1.9% 増とプラスに転じており、景気底入れの兆しがみえてきた。ただし、持ち直しの動きは今のところ電子部品など一部にとどまっている。今後、海外からの投資規制の緩和など政府の景気テコ入れ策の本格化とともに景気も徐々に回復に向かうとみられる。

台湾：鉱工業生産の推移



【台湾の主要経済指標】

		2009年	2010年	2011年	11/3Q	11/4Q	12/1Q	12/2Q	12/3Q	12/7月	12/8月	12/9月
GDP (yoy)	実質 GDP (前期比)				0.5	0.5	0.4	0.9				
	(前年比)	1.8	10.7	4.0	3.4	1.8	0.4	0.2				
	うち民間消費	0.8	3.7	3.0	3.2	1.1	1.4	0.8				
	うち総固定資本形成 (うち民間企業)	11.2	24.0	3.9	9.1	12.8	10.2	5.2				
生産	鉱工業生産(yoy)	8.1	26.9	5.0	3.4	4.0	4.7	1.4	1.5	0.1	1.4	3.0
消費	卸小売販売指数(yoy)	3.5	5.3	0.9	0.9	3.6	2.8	0.1	0.8	0.6	1.6	0.0
貿易 及び 対外 関連	貿易収支(10億ドル)	29.3	23.4	26.8	7.8	8.9	5.7	5.6	8.4	1.0	3.3	4.1
	輸出(yoy)	20.3	34.8	12.3	11.6	4.5	4.0	5.4	2.2	11.5	4.2	10.4
	輸出受注(yoy)	8.3	26.1	7.2	6.3	2.0	1.5	3.1	1.4	4.4	1.5	1.9
	輸入(yoy)	27.5	44.1	12.0	10.2	0.9	5.9	5.8	3.2	3.2	7.6	1.3
	経常収支(10億ドル)	42.9	39.9	41.6	10.3	12.3	11.0	10.0				
	外貨準備高(10億ドル)	348	382	386	389	386	394	391	398	391	394	398
雇用	失業率(季調値)	5.8	5.2	4.4	4.3	4.3	4.2	4.2	4.3	4.3	4.3	4.3
物価	消費者物価(yoy)	0.9	1.0	1.4	1.3	1.4	1.3	1.7	2.9	2.5	3.4	3.0
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	5.8	5.4	4.8	5.7	4.8	5.1	4.2		3.4	4.3	
	株価指数(加権指数)	8,188	8,973	7,072	7,225	7,072	7,933	7,296	7,715	7,270	7,397	7,715
	短期金利(オーバーナイト)	0.12	0.18	0.34	0.39	0.40	0.40	0.50	0.41	0.45	0.39	0.39
	為替レート(NTドル/ドル)	33.1	31.6	29.5	29.2	30.3	29.7	29.7	29.9	30.0	30.0	29.6
	為替レート(円/NTドル)	2.83	2.77	2.70	2.66	2.56	2.67	2.70	2.63	2.63	2.62	2.64

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、貿易統計は再輸出と再輸入を加算した新ベース。

4. 韓国経済の概況

- ・ 内外需の不振から景気の低迷が続いている。
- ・ 景気のけん引役である輸出は9月も前年比2.0%減と3ヶ月連続で前年比マイナスが続いている。速報ベースで主要輸出品別の動向をみると、石油製品（前年比24.0%増）無線通信機（同10.0%増）石油化学（同2.4%増）などが持ち直す一方で、船舶（同50.6%減）鉄鋼（同9.1%減）などが依然として不振であった。
- ・ こうした中で韓国中銀は10月11日の金融通貨委員会で今年7月以来3ヶ月ぶりに政策金利の引下げ（3.00%→2.75%）を決めた。「世界経済の回復は極めてゆっくりとしたものにとどまる一方、一段と悪化するリスクも依然として大きく、そうした中で韓国経済も停滞する可能性がある」と指摘している。また、同時に発表した経済見通しにおいて、今年の成長率見通しを7月時点の3.0%から2.4%に、来年の見通しを3.8%から3.2%にそれぞれ下方修正した。



【韓国の主要経済指標】

		2009年	2010年	2011年	11/3Q	11/4Q	12/1Q	12/2Q	12/3Q	12/7月	12/8月	12/9月
GDP (yoy)	実質GDP (前期比)				0.8	0.3	0.9	0.3				
	(前年比)	0.3	6.3	3.6	3.6	3.3	2.8	2.3				
	うち民間消費支出	0.0	4.4	2.3	2.1	1.1	1.6	1.1				
	うち固定資本形成	1.0	5.8	1.1	1.5	1.8	4.6	2.1				
	うち設備	9.8	25.7	3.7	1.2	3.3	8.6	3.5				
生産	鉱工業生産(yoy)	0.1	16.3	6.9	5.3	5.0	3.9	1.5		0.2	0.3	
消費	小売売上高(数量,yoy)	2.7	6.7	4.4	4.6	1.9	2.0	1.0		2.7	0.3	
貿易及び対外関連	貿易収支(10億ドル)	40.4	41.2	30.8	6.3	9.2	1.3	9.5	7.9	2.7	2.1	3.1
	輸出(yoy)	13.9	28.3	19.0	21.4	9.0	3.0	1.7	5.6	8.7	6.0	2.0
	輸入(yoy)	25.8	31.6	23.3	27.7	13.4	7.7	2.7	7.1	5.3	9.8	6.1
	経常収支(10億ドル)	32.8	29.4	26.5	6.9	11.5	2.6	11.2		6.1	2.4	
	外貨準備高(10億ドル)	270	292	306	303	306	316	312	322	314	317	322
雇用	失業率(季調値)	3.6	3.7	3.4	3.2	3.1	3.4	3.3	3.1	3.1	3.1	3.1
物価	消費者物価(yoy)	2.8	2.9	4.0	4.3	4.0	3.0	2.4	1.6	1.5	1.2	2.0
金融	マネーサプライ(New M2,yoy)	9.9	6.0	5.5	4.5	5.5	6.4	6.5		5.6	5.7	
	株価指数(総合)	1,683	2,051	1,826	1,770	1,826	2,014	1,854	1,996	1,882	1,905	1,996
	C/Dレート(3ヵ月物)	2.63	2.67	3.44	3.59	3.56	3.54	3.54	3.22	3.34	3.19	3.14
	為替レート(ウォン/ドル)	1,277	1,156	1,108	1,084	1,145	1,132	1,152	1,133	1,143	1,132	1,125
	為替レート(円/100ウォン)	7.3	7.5	7.2	7.0	6.8	7.1	6.9	6.9	6.9	6.9	6.9

(出所) CEIC

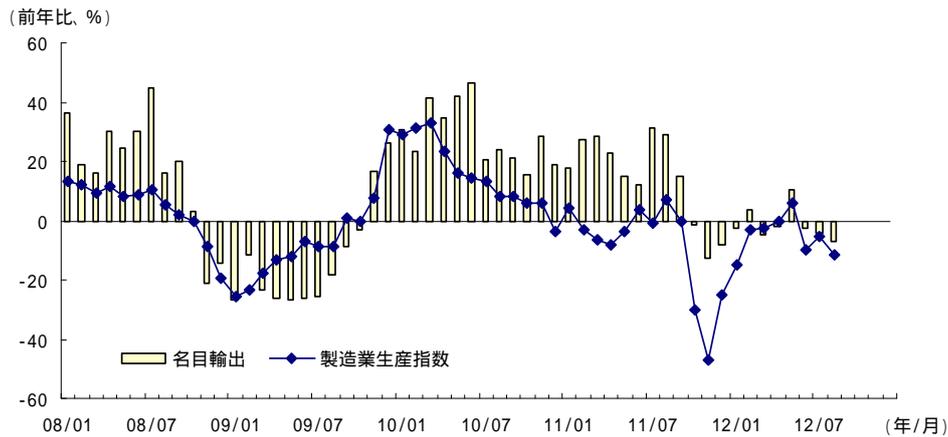
(注) yoy = 前年比 (%)

ASEAN・インド

1. タイ経済の概況

- ・ タイ景気は減速傾向にある。企業部門をみると、8月の製造業生産指数が、民生用エレクトロニクスなどの不振から前年比 11.3%と、前月(同 5.5%)よりもマイナス幅を大きくした。同月の名目輸出が同 6.9%と3ヶ月連続で減少しており、世界景気の減速に伴う輸出の失速が生産にブレーキをかけている模様だ。
- ・ 他方で家計部門をみると、8月の消費総合指数は前年比 +4.1%と前月(同 +7.1%)に比べて伸びが鈍化した。もっとも、購入支援策を受けて乗用車などの耐久財消費は引き続き良好であり、タイ景気を下支えしている。
- ・ このような環境の下でタイ中央銀行は、10月17日の金融政策委員会において政策金利(1日物レポレート)を0.25%引き下げ、年2.75%とした。世界景気の先行きが不透明な中で、金融緩和を進めて景気回復を下支えするスタンスを示した。

タイ:輸出の失速が生産の増勢を下押し



(出所)タイ商業省及びタイ中央銀行

【タイの主要経済指標】

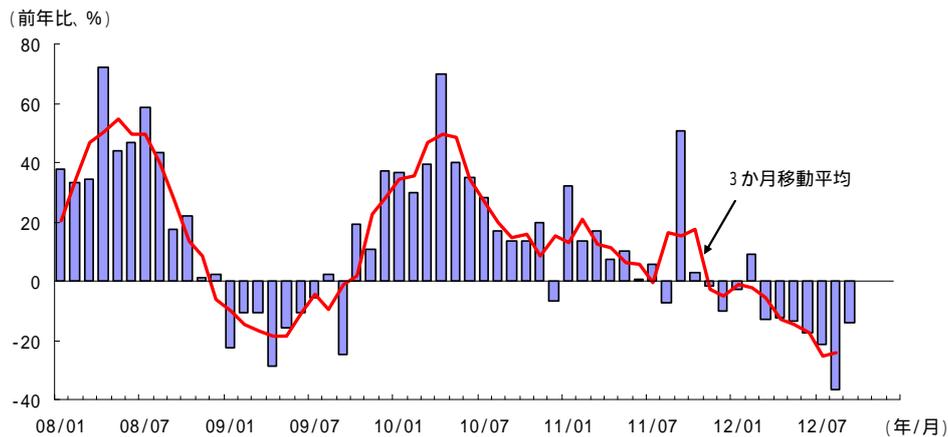
		2009年	2010年	2011年	11/3Q	11/4Q	12/1Q	12/2Q	12/3Q	12/7月	12/8月	12/9月
GDP (yoy)	実質GDP	2.3	7.8	0.1	3.7	8.9	0.4	4.2				
	民間消費	0.1	5.1	1.3	2.8	3.0	2.4	5.4				
	総固定資本形成	9.2	9.4	3.3	3.3	3.6	5.2	10.2				
生産	製造業生産指数(yoy)	7.2	14.3	9.3	1.9	34.2	6.9	1.6		5.5	11.3	
消費	総合消費指数(yoy)	2.6	5.5	3.6	4.2	1.2	4.1	4.9		7.1	4.1	
投資	民間企業投資指数(yoy)	12.0	19.0	8.3	7.7	0.3	5.9	15.8		19.2	14.2	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	18.7	12.4	6.2	0.3	6.2	5.2	5.2		1.7	1.0	
	輸出(yoy)	14.3	28.1	14.0	24.7	7.5	1.4	2.0		4.5	6.9	
	輸入(yoy)	25.4	36.8	25.1	32.7	12.8	10.4	9.5		13.7	8.8	
国際収支	経常収支(10億ドル)	21.9	10.0	5.9	0.9	0.4	1.4	2.4		0.1	0.9	
	外貨準備高(10億ドル)	133.6	165.7	165.2	170.0	165.2	168.8	164.6	172.7	165.2	168.7	172.7
雇用	失業率(季調前)	1.5	1.1	0.7	0.7	0.6	0.7	0.9	0.0	0.6	0.6	
物価	消費者物価(総合,yoy)	0.8	3.3	3.8	4.1	4.0	3.4	2.5	2.9	2.7	2.7	3.4
	消費者物価(コア,yoy)	0.3	0.9	2.4	2.8	2.8	2.7	2.0	1.8	1.9	1.8	1.9
金融	マネーサプライ(broad M,yoy)	6.8	10.9	15.2	16.2	15.2	13.1	11.1		10.5	10.7	
	株価指数(SET)	735	1,033	1,025	916	1,025	1,197	1,172	1,299	1,199	1,227	1,299
	インターバンク金利(3M)	1.58	1.61	3.12	3.52	3.45	3.12	3.14	3.13	3.14	3.13	3.13
	為替レート(バーツ/\$)	34.3	31.7	30.5	30.1	31.0	31.0	31.3	31.4	31.7	31.4	31.0
	為替レート(円/バーツ)	2.7	2.8	2.6	2.6	2.5	2.6	2.6	2.5	2.5	2.5	2.5

(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%)

2. インドネシア経済の概況

- ・ インドネシア経済の成長ペースは減速している。8月の貿易統計を見ると、名目輸出が前年比 24.3%と前月（同 7.6%）よりもマイナス幅を大きくしており、外需の不振が目立った。一方、名目輸入も前年比 8.0%と減少幅を拡大させるなど、堅調が続いてきた内需の増勢もやや一服している。
- ・ 内需の主役である個人消費は、小売販売は堅調が続くものの、一部耐久財を中心に勢いを弱めている。例えば二輪車の販売動向を見ると、6月にインドネシア中央銀行が導入したローンの頭金規制の影響などを受けて前年割れが続いている。
- ・ 物価の動向を見ると、9月の消費者物価上昇率が前年比 +4.3%と4か月ぶりに騰勢を弱めた。こうした中でインドネシア中央銀行は、10月11日の金融政策委員会で、政策金利（BIレート）を現行の年5.75%に据え置いた。

インドネシア：規制を受けて前年割れが続く二輪車の販売台数



(出所)インドネシア中央統計局

【インドネシアの主要経済指標】

		2009年	2010年	2011年	11/3Q	11/4Q	12/1Q	12/2Q	12/3Q	12/7月	12/8月	12/9月
GDP (yoy)	実質GDP	4.6	6.2	6.5	6.5	6.5	6.3	6.4				
	民間消費支出	4.9	4.7	4.7	4.8	4.9	4.9	5.0				
	総固定資本形成	3.3	8.5	8.8	7.1	11.5	10.0	12.3				
生産	製造業生産(yoy)	1.3	4.4	4.0	7.6	2.8	1.7	1.4		1.3	6.1	
消費	小売売上(yoy)	n.a.	n.a.	9.0	9.1	9.1	13.1	11.3		19.9	11.4	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	19.7	22.2	26.1	7.2	3.9	2.8	2.3		0.3	0.2	
	輸出(yoy)	15.0	35.5	28.9	39.6	9.4	6.9	9.0		7.6	24.3	
	(除く石油ガス,yoy)	9.7	33.1	24.8	28.8	8.6	3.9	8.8		3.3	22.6	
	輸入(yoy)	24.9	40.1	30.8	34.8	23.9	17.9	13.2		0.9	8.0	
国際収支	経常収支(10億ドル)	10.6	5.1	1.7	0.7	2.2	3.2	6.9				
	外貨準備高(10億ドル)	60.4	89.8	103.4	107.5	103.4	103.1	99.4	102.6	99.3	101.7	102.6
物価	消費者物価(yoy)	4.8	5.1	5.4	4.7	4.1	3.7	4.5	4.5	4.6	4.6	4.3
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	13.0	15.4	16.4	16.2	16.4	18.8	20.9		19.1	17.8	
	株価指数(総合)	2,534	3,704	3,822	3,549	3,822	4,122	3,956	4,263	4,142	4,060	4,263
	中銀債金利(3ヵ月)	6.5	6.5	6.0	6.8	6.0	5.8	5.8	5.8	5.8	5.8	5.8
	為替レート(円/ドル)	10,354	9,078	8,773	8,636	9,024	9,088	9,412	9,544	9,485	9,560	9,588
	為替レート(円/100ピア)	0.91	0.96	0.91	0.89	0.87	0.88	0.84	0.82	0.82	0.82	0.81

(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%)、製造業生産は11年以降、2010年=100基準。

### 3. マレーシア、フィリピン、シンガポールの主要経済指標

【マレーシアの主要経済指標】

		2009年	2010年	2011年	11/3Q	11/4Q	12/1Q	12/2Q	12/3Q	12/7月	12/8月	12/9月
GDP (yoy)	実質 GDP	1.5	7.2	5.1	5.7	5.2	4.9	5.4				
	民間消費	0.6	6.6	7.1	7.6	7.3	7.4	8.8				
	総固定資本形成	2.7	10.4	6.5	5.4	8.4	16.2	26.1				
生産	鉱工業生産 (yoy)	7.6	7.2	1.2	2.1	2.3	3.5	4.9		3.0	0.6	
消費	自動車販売台数 (yoy)	2.0	12.7	0.8	0.6	1.3	12.6	17.3	2.7	18.3	11.2	3.3
輸出入	貿易収支 (10億ドル)	33.4	34.1	40.6	10.1	10.2	9.7	6.8		1.1	2.3	
	輸出 (yoy)	21.2	26.5	15.0	16.7	8.5	3.4	0.4		7.9	8.6	
	輸入 (yoy)	20.9	33.1	14.2	12.1	5.5	6.3	5.3		3.5	1.6	
国際収支	経常収支 (10億ドル)	31.4	27.3	31.7	9.1	7.1	5.9	3.1				
	外貨準備高 (10億ドル)	86	96	120	118	120	122	122	124	122	122	124
雇用	失業率 (%)	3.7	3.3	3.1	3.1	3.0						
物価	消費者物価 (yoy)	0.6	1.7	3.2	3.4	3.2	2.3	1.7	1.4	1.4	1.4	1.3
金融	マネーサプライ (M2, yoy)	9.5	7.2	14.6	13.0	14.6	15.2	13.6		14.4	14.8	
	株価指数 (総合)	1,273	1,519	1,531	1,387	1,531	1,596	1,599	1,637	1,632	1,646	1,637
	1ヶ月利 (1M, %)	2.18	2.56	2.97	3.05	3.05	3.05	3.06		3.06	3.06	
	為替レート (リギ/ドル)	3.52	3.22	3.06	3.02	3.15	3.06	3.11	3.12	3.17	3.12	3.08
	為替レート (円/リギ)	26.5	27.2	26.0	25.7	24.5	25.9	25.7	25.2	24.9	25.2	25.4

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比 (%)、鉱工業生産は2005年基準。消費者物価は06年以降、2005年 = 100基準。

【フィリピンの主要経済指標】

		2009年	2010年	2011年	11/3Q	11/4Q	12/1Q	12/2Q	12/3Q	12/7月	12/8月	12/9月
GDP (yoy)	実質 GDP	1.1	7.6	3.9	3.2	4.0	6.3	5.9				
	民間消費支出	2.3	3.4	6.3	7.4	6.4	5.1	5.7				
	固定資本形成	1.7	19.1	0.2	1.0	2.4	3.9	8.5				
生産	鉱工業生産 (yoy)	13.2	16.9	2.1	2.6	6.8	9.4	4.1		2.5	3.0	
消費	自動車販売台数 (yoy)	6.4	25.6	14.9	16.4	13.6	10.2	19.4	8.5	25.6	1.8	2.4
輸出入	貿易収支 (10億ドル)	4.7	3.4	12.2	2.6	3.8	2.6	1.4		0.2	1.3	
	輸出 (yoy)	21.7	34.0	6.2	14.3	16.8	4.8	10.5		6.0	9.0	
	輸入 (yoy)	24.1	27.5	10.1	10.3	0.9	1.5	2.2		0.8	0.4	
国際収支	経常収支 (10億ドル)	9.4	8.9	7.0	2.3	1.9	0.8	2.8				
	外貨準備高 (10億ドル)	44.2	62.4	75.3	75.2	75.3	76.1	76.1	82.0	79.8	80.7	82.0
雇用	失業率 (%)	7.5	7.4	7.4	7.1	6.4	7.2	6.9	7.0			
物価	消費者物価 (yoy)	4.2	3.8	4.7	4.7	4.7	3.1	2.9	3.5	3.2	3.8	3.6
金融	マネーサプライ (yoy)	8.3	10.6	6.3	7.4	6.3	5.6	7.1		8.7	6.2	
	株価指数 (総合)	3,053	4,201	4,372	4,000	4,372	5,108	5,246	5,346	5,308	5,196	5,346
	1ヶ月利 (3カ月, %)	4.50	3.77	2.52	2.51	2.79	3.36	3.38	1.77	2.47	1.59	1.26
	為替レート (P/ソドル)	47.6	45.1	43.3	42.8	43.5	43.0	42.8	41.9	41.9	42.0	41.7
	為替レート (円/Pソ)	1.96	1.94	1.84	1.82	1.78	1.84	1.87	1.88	1.89	1.87	1.87

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比 (%)、マネーサプライは2007年まで M2、2008年以降は M3。

【シンガポールの主要経済指標】

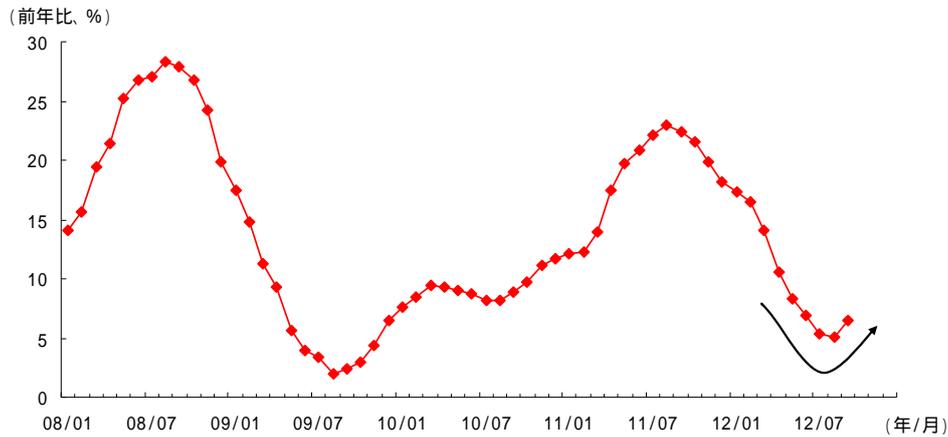
		2009年	2010年	2011年	11/3Q	11/4Q	12/1Q	12/2Q	12/3Q	12/7月	12/8月	12/9月
GDP (yoy)	実質 GDP	1.0	14.8	4.9	6.0	3.6	1.5	2.0				
	民間消費	0.1	6.5	4.1	5.9	1.9	4.7	1.8				
	総固定資本形成	2.9	7.0	3.3	8.0	0.2	17.0	1.8				
生産	鉱工業生産 (yoy)	4.2	29.7	7.8	8.9	9.3	0.8	4.6		2.4	2.2	
消費	小売売上金額 (yoy)	2.5	0.3	4.2	4.5	5.8	9.5	0.7		3.0	3.2	
輸出入	貿易収支 (10億ドル)	23.9	40.8	43.8	12.1	10.6	7.1	6.7	8.8	2.8	2.8	3.3
	輸出 (yoy)	20.2	30.6	16.5	15.9	7.1	5.9	0.5	5.8	3.3	8.9	4.9
	輸入 (yoy)	23.1	26.7	17.7	17.6	11.2	11.7	2.6	3.0	2.2	11.3	1.0
国際収支	経常収支 (10億ドル)	30.1	55.5	57.0	15.8	13.2	10.8	10.8				
	外貨準備高 (10億ドル)	188	226	238	234	238	244	243	252	244	246	252
雇用	失業率 (季調値, %)	3.0	2.2	2.0	2.0	2.0	2.1	2.0				
物価	消費者物価 (yoy)	0.6	2.8	5.2	5.5	5.5	4.9	5.3	4.2	4.0	3.9	4.7
金融	マネーサプライ (M2, %)	11.3	8.6	10.0	11.3	10.0	9.7	6.5		5.9	7.2	
	株価指数 (ストイト)	2,898	3,190	2,646	2,675	2,646	3,010	2,878	3,060	3,036	3,025	3,060
	1ヶ月利 (3M, %)	0.69	0.56	0.41	0.33	0.44	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38
	為替レート (S/ドル)	1.45	1.36	1.26	1.23	1.29	1.26	1.26	1.25	1.26	1.25	1.23
	為替レート (円/S)	64.3	64.3	63.4	63.4	60.1	62.6	63.4	63.0	62.6	63.0	63.5

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比 (%)、輸出入伸び率は米ドル建てベース。

4. ベトナム経済の概況

- ベトナム経済の減速に歯止めの兆しが見える。直近9月の鉱工業生産は前年比+9.7%と、前月(同+4.4%)から伸びが加速した。産業部門別には鉱業などの好調が目立った。また同月の名目輸出も前年比+22.1%と堅調な伸びを示している。品目別に見ると、コーヒーなど農作物をはじめ、原油などの商品関連が好調であった。市況高が輸出回復のけん引力になったと考えられる。
- 他方で物価を見ると、これまで低下傾向で推移していたものの、9月の消費者物価上昇率が前年比+6.5%と約1年ぶりに加速に転じた。医薬品などの値上げによる影響が大きい。これまでの金融緩和や世界的なエネルギー価格の上昇などの要因を勘案すると、物価の騰勢が再び強まる可能性がある。

ベトナム: 加速に転じた消費者物価上昇率



(出所)ベトナム国家統計局

【ベトナムの主要経済指標】

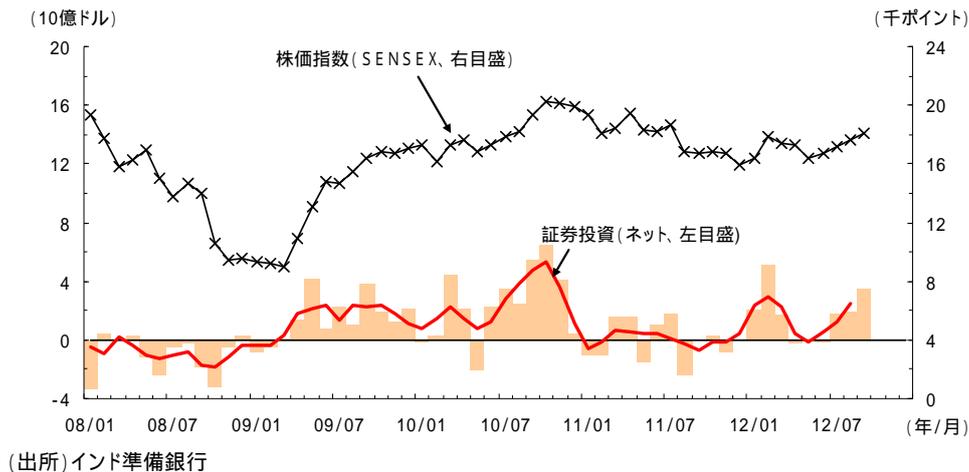
		2009年	2010年	2011年	11/3Q	11/4Q	12/1Q	12/2Q	12/3Q	12/7月	12/8月	12/9月
GDP (yoy)	実質GDP	5.3	6.8	5.9	5.8	5.9	4.0	4.4	4.7			
	ytd											
	農業生産	1.8	2.8	4.0	2.4	4.0	2.8	2.8	2.5			
生産	鉱工業・建設生産	5.5	8.9	5.5	6.6	5.5	2.9	3.8	4.4			
	鉱工業生産(yoy)	7.1	10.7	6.7	9.1	7.0	8.7	7.4	6.7	6.1	4.4	9.7
消費ytd	小売売上(名目、yoy)	18.6	24.5	24.2	22.8	24.2	21.8	19.5	17.3	18.7	17.9	17.3
輸出入	貿易収支(10億ドル)	12.4	12.1	8.9	0.8	1.6	0.3	0.2	0.5	0.6	0.1	0.1
	輸出(yoy)	7.1	26.7	33.1	39.7	29.3	28.3	23.4	13.9	9.3	11.5	22.1
	輸入(yoy)	10.8	21.6	24.4	28.6	16.2	7.8	9.6	8.6	16.9	6.4	3.8
国際収支	経常収支(10億ドル)	6.6	4.3	0.2	1.3	0.1						
	外貨準備高(10億ドル)	16.0	12.1									
物価	消費者物価(yoy)	6.7	9.2	18.6	22.5	19.9	16.0	8.6	5.6	5.4	5.0	6.5
金融	株価指数(VN index)	495	485	352	428	352	441	422	393	414	396	393
	ブレイクアウト(翌日物:期末)	7.21	8.17	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00
	為替レート(ドン/ドル)	17,131	18,655	20,547	20,621	20,811	20,828	20,828	20,828	20,828	20,828	20,828
	為替レート(円/100ドン)	0.55	0.47	0.39	0.38	0.37	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38

(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%)、ytd=年初累計ベース、生産は2011年6月以降、2012年1月以降新基準。

5. インド経済の概況

- ・ インド経済の成長テンポは引き続き鈍化している。企業部門をみると、直近8月の鉱工業生産は前年比+2.7%と3か月ぶりにプラスとなったが、小幅な伸びにとどまった。先行性のあるセメントや鉄鋼などの生産財の生産高も低迷が続いている。一方、家計部門でも、ストライキによる供給制約などもあって自動車販売台数が前年割れとなるなど、個人消費に陰りがみられる。こうした中で、物価は依然強含みで推移している。直近8月の卸売物価指数(WPI)上昇率は前年比+7.6%と、前月(同+6.9%)に比べて伸びが加速した。
- ・ 他方で金融面をみると、株価が上昇基調で推移した。証券投資のネット流入が安定して拡大しており、外国人投資家による積極的な購入が株価を押し上げている模様だ。その背景には、年央以降の欧州危機の小康化に加えて、経済の構造改革推進を明言した政府の声明(10月初)などを投資家が好感したことがあるとみられる。

インド:外国人投資家による買いを受けて上昇する株価



【インドの主要経済指標】

		2009年	2010年	2011年	11/3Q	11/4Q	12/1Q	12/2Q	12/3Q	12/7月	12/8月	12/9月
GDP (yoy)	実質GDP	6.4	8.9	7.5	6.7	6.1	5.3	5.5				
	農業生産	0.7	5.8	4.3	3.1	2.8	1.7	2.9				
実質GDP(年度)		8.4	8.4	6.5								
農業生産(年度)		1.0	7.0	2.8								
生産	鉱工業生産(yoy)	0.2	9.7	4.8	3.2	1.2	0.6	0.2		0.2	2.7	
消費	自動車販売台数(yoy)	15.7	30.8	16.2	16.5	10.8	11.9	8.1	3.6	4.3	5.1	9.2
輸出入	貿易収支(10億ドル)	92.3	123.9	161.5	43.2	47.9	47.1	41.1	49.2	15.5	15.6	18.1
	輸出(yoy)	15.4	37.3	33.7	44.6	10.8	2.7	4.4	11.8	14.8	9.7	10.8
	輸入(yoy)	19.9	36.2	32.5	40.0	29.3	24.7	6.9	2.6	7.6	5.1	5.1
国際収支	経常収支(10億ドル)	25.9	52.2	62.8	18.9	20.0	21.8	16.6	0.0			
	外貨準備高(10億ドル)	258.6	267.8	262.9	275.7	262.9	260.1	256.7	0.0	256.6	257.6	
物価	卸売物価(yoy)	2.4	9.6	9.5	9.7	9.0	7.5	7.5	7.6	7.5	7.6	7.8
	消費者物価(yoy)	10.9	12.0	8.9	9.2	8.4	7.2	10.1		9.8	10.3	
金融	M3(M3,yoy)	18.0	18.7	15.9	16.6	15.9	13.1	15.4	13.4	13.5	13.7	13.4
	株価指数(BSE Sensitive)	17,465	20,509	15,455	16,454	15,455	17,404	17,430	18,763	17,236	17,430	18,763
	TB3ヶ月	3.70	5.51	8.06	8.4	8.6	8.9	8.4	8.2	8.1	8.2	8.1
	為替レート(比ドル)	48.4	45.8	46.9	46.4	51.4	49.9	55.1	54.7	55.8	55.7	52.7
	為替レート(円比)	1.93	1.90	1.69	1.7	1.5	1.6	1.4	1.4	1.4	1.4	1.5

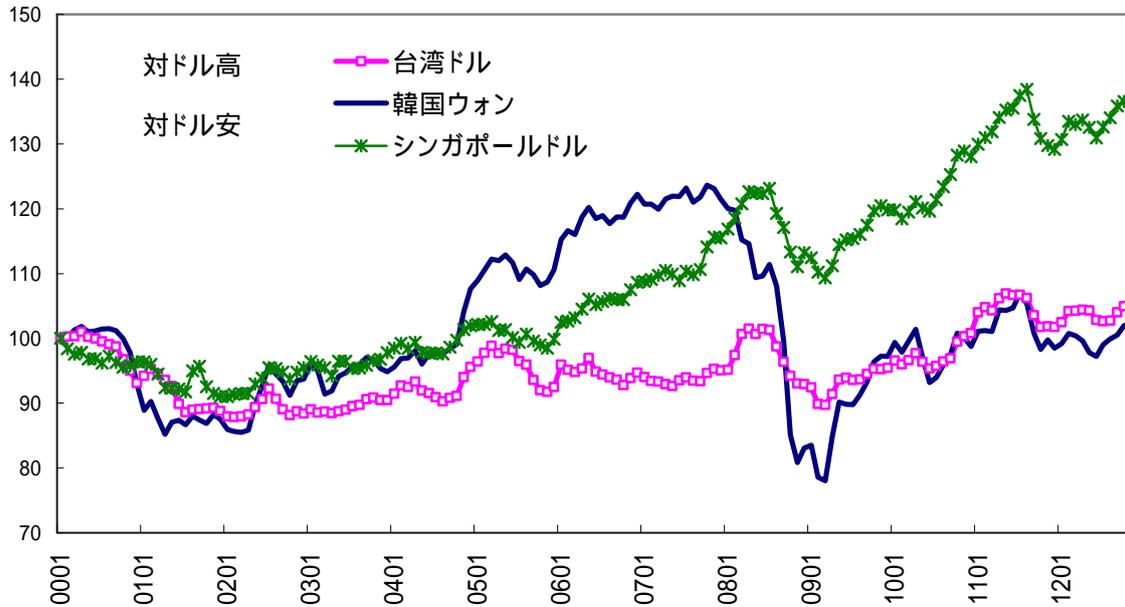
(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%)、年度は4月から翌年3月。消費者物価上昇率は2012年より新系列。

．アジア通貨・株価動向

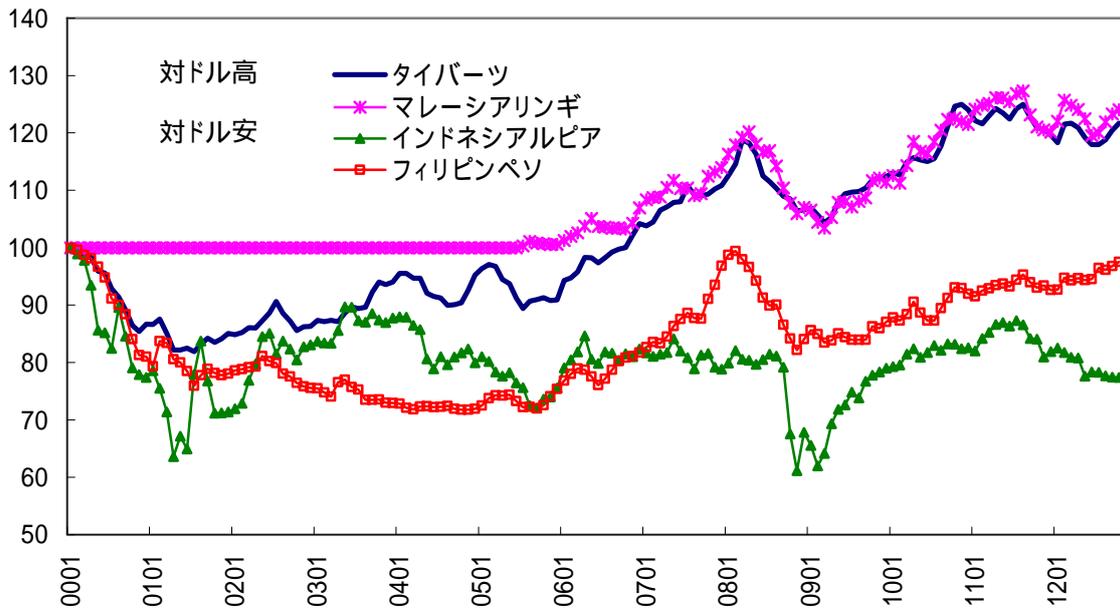
アジア通貨の対ドル相場の推移

< 2000年1月 = 100 >

(2000年1月 = 100)



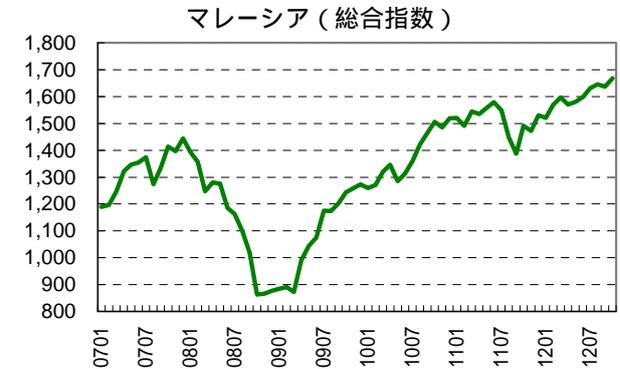
(2000年1月 = 100)



(出所) CEIC

(注) 直近は10/1-10/24の平均値。

アジア諸国の株価動向（月末値）



(出所) CEIC

(注) 直近は10/24終値。

- ご利用に際して -

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡下さい。